

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループの使命

人と人、街と街を結ぶ企業として長崎の暮らしを支え、社会の繁栄に貢献する

② 中長期の経営戦略

1. 乗合バス事業の収支改善

データに基づく効果的な施策で、基幹事業の収支バランス改善と顧客満足度向上を図る

3. 商業施設のリニューアル

みらい長崎ココウォークにおいて地域ニーズに即したリニューアルを継続展開

2. 観光振興の推進

国指定史跡「出島」のポテンシャルを活用した観光振興策を実施し増収に努める

4. 新規事業分野への進出

既存事業のみでなく新規事業分野への進出と経営構造の効率化が必須

③ 対処すべき課題

① 沿線人口減少への対応

- ・沿線人口の減少に伴う乗客数の減少に対処する必要がある
- ・人口動態に比例するバス利用者の減少は今後も継続することが見込まれる
- ・バス路線の維持存続をめざし真に効果的な策を講じる

② 運転者不足の深刻化

- ・乗合バス事業における運転者不足が深刻化している
- ・人口減少に伴い運転者不足も同様の流れになると思われる

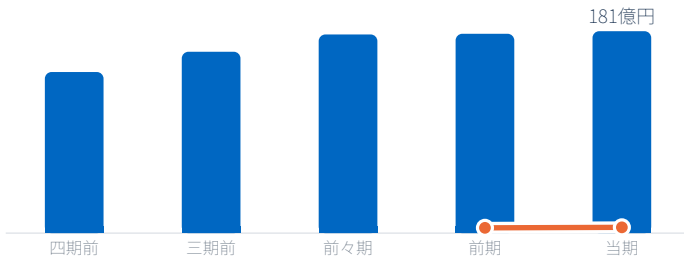
③ 経営環境の不確実性

- ・先の見えない円安傾向や米国通商政策の不安定化が継続
- ・地政学的な不確実性と物価上昇圧力が混在する状況が続く
- ・新たな経営手法への早急な着手と実行が必須

面接で使えるポイント

- ・創業90周年を迎える長崎バスグループが、100年企業を目指すため変革と成長の好機とする姿勢
- ・沿線人口減少による乗客減少と運転者不足という課題に対し、データに基づく施策で乗合バス事業の収支改善に取り組む点
- ・出島のポテンシャルやみらい長崎ココウォークなど既存資産を活かしながら、新規事業分野への進出も視野に入れる戦略

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
181億円営業利益率
2.9%財務健康度
30点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 44.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

